

授業科目 臨床実習Ⅲ（8週）

言語聴覚学科
専門

| | | | | |
|----------------------|------|-------|-------|-----|
| 【担当教員名】 言語聴覚学科全教員 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 言語 |
| | 開講時期 | 前期・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 8 | 時間数 | 360 |

【概要】

- ・ 学外総合実習である
- ・ 学科内セミナーを実習前に行う
事前セミナーでは、障害領域での評価、指導法、効果評価法を学習、演習する
- ・ 事後学習では、症例報告書を提出する

【学習目標】

- ・ 言語聴覚障害の治療（指導）に必要な基礎知識や医学的知識と臨床技術との統合をはかり、言語聴覚士としての技量を養成する
- ・ 将来言語聴覚士を志すものとして、指導の現場で、評価、指導計画、指導の一部を実際に体験する
- ・ 実習で体験した症例を報告書にまとめる。必要に応じて実習施設において口頭発表する。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|----|----------------------|-----|-------------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1) | オリエンテーション 事前学習・演習 | | 学内・セミナー |
| 2) | 学外実習 | | 学外・配属実習 実習記録ノートを作成する |
| 3) | まとめ 事後学習 | | 個別指導 |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|----------------|---------|-------|--------------|
| 参考書 | 言語聴覚療法 臨床マニュアル | 協同医学出版社 | 9500円 | |
| | ことばの障害の評価と指導 | 大石敬子編 | 大修館書店 | 2001年 2400円 |

【評価方法】

出席、実習先の評価、
臨床実習Ⅲ記録ノートおよび
症例報告書の総合評価

【履修上の留意点】

実習日程、病院（施設）は、実習先との相談の上決定する